校種	児童生徒の健康・安全面への取組
	小学校における取組
小学校	健康チェック表の活用。 手の消毒、教室の消毒。
小学校	【健康観察】家庭で毎朝・晩の健康観察チェックリストをつけてもらい、預かり児童についてはそれを持参して登校。玄関でそのプリントをチェック＋検温＋健康観察＋アルコール消毒対応。 【体調管理】・歯みがきチェックカレンダー ・生活リズム調べ の実施（宿題ではないので必ず提出する必要はないとしている。）
小学校	○卒業式後の椅子等の消毒 ○校内の受付玄関周辺の消毒 ○校内の受付、職員室内に手指消毒液設置 ○使い捨て手袋、マスクの準備 ○休校前のショート保健指導を、校内放送(テレビ放送)し全体児童と職員に伝えた。時間がなく、給食終了後、校長から休校についての話しのあと、二分程度だが、予防と休み中の過ごし方をポイントを絞り伝えた。 ○健康観察表は、市教委サンプルを活用し学習チェックと一緒になったタイプのシートを配付。 ○児童の健康観察表を各学級、新型コロナ用に作成。家庭からの電話連絡や、家庭訪問で確認した体調不良の児童の記録をしている。 ○各学級の健康観察結果の集計表を作成し、健康状態把握と報告をしやすいように準備した。
小学校	・インフルエンザ予防で使用していた検温表の継続使用 ・生活リズムチェック表の配付 ・担任から児童への電話
小学校	・こどもの心のケアに関する簡易のアンケートをとり、アンケートを生かして学校での教育相談週間などを4月中に実施したい ・健康診断が6/1以降になるので、セルフメディケーション能力を高めるような保健指導の実施 ・手洗いの指導を年度始めに行うようにし、休憩時間の終わりや給食前に「アワアワ手洗い」の音楽を流す
小学校	・電話面談'もしもしトーク'における健康観察および心のケアの実施、運動の推奨 ・メールによる毎日の健康観察(卒業式のある6年のみ)
小学校	・登校日には、健康チェックカードでの健康状態把握（職員も） ・学校預かりの子供の送り迎えは保護者が行う ・用務員さんが消毒液を使い、手すりやドアノブを拭いてくれている

小学校	・臨時休業中は、「健康チェックカード」を配布。 項目は5つ。体調（★の数で表す）、検温、起床時間、就寝時間、歯みがき（朝昼晩） ・毎日、学級担任が電話連絡。その時に体調を聞く。
小学校	①休業中の学習課題を配布する際に、家でできるストレッチや学習・ゲーム後にする目のリラックス方法を紹介するプリントを同封した。プリントはカレンダー方式を取り入れて、継続して取りくめるよう工夫した。 ②毎日の検温と健康観察を記録する用紙も同封した。
小学校	1電話による健康相談。 2運動の推進のための、縄跳びカードやプログラムの資料配布 3ストレス対応のための保健だより配布 4配慮が必要な児童と家庭へのこまめな連絡と状況把握
小学校	①普段月１回１週間実施している、生活リズムのふりかえりのシートを休業中、配付した。（早寝・早起き・メディア・体調・運動・歯磨きなど）登校日に集め、目を通す予定。春休み分を再度配付予定。 ②担任が家庭訪問（感染対策を行い、外で短時間の面会）を実施し、健康状態の確認を行った。 ③登校日にも、健康観察を実施し、心の面についても聞き取りを実施した。また、登校日は、児童および教職員全員がマスクを着用したり、教室の換気、ドアノブ等の消毒を実施した。登校前には、家庭へメールで、マスクの着用と検温の実施、体調が悪い場合は登校を見合わせる等を依頼した。 ④修了式は、校内放送で実施し、その中で、保健指導も実施。保健だよりで感染防止等を通知。
小学校	①毎朝、家で検温をして、個人用の健康観察表を記入して登校する。37.5°C以上は自宅静養 ②教室に入ったら、手指消毒をする。休み時間毎に窓を対角線上に開けて、。 マスクの着用。 ③教室の湿度を保つため、休み時間に霧吹きをする。
小学校	①臨時休業中専用の「健康観察カード」を作成し、預かり時や登校時に家庭で記入したものを職員がチェックし、学校と家庭で連携を図りながら児童の健康を見守っている。②預かり時、教室を使用する際は少人数に分け、感染を防ぐ工夫をしている。また、特別教室や体育館・校庭を使用する際も少人数で使用するようにしている。③朝や休み時間ごとに放送を入れ、体温測定や手洗い・うがい、換気を徹底している。④マスクをしてこなかった児童については学校のマスクを渡し、マスクの着用を徹底している。⑤児童が下校した後は、次亜塩素酸ナトリウムで机やイス・ドアノブ等の消毒を行う（アルコールは手に入らないため）⑥預かり時の休み時間に、ぬり絵やビデオ上映（オープンスペースで）をし、子どもたちがリフレッシュできるようにしている。
小学校	3月16日、17日が数人ずつの登校日ですが、昇降口で手指消毒やマスクの配布をします。また、教室の机の間隔は2メートル分けます。
小学校	webアンケートによる健康状態の把握
小学校	webフォームでの健康観察

小学校	アウトメディアを含めた健康観察表を配布し、自分自身の健康的な生活に関心を持ち健康を作っていけるような取り組みを進めている。
小学校	アルコール手指消毒 加湿器の使用
小学校	アルコール消毒
小学校	アルコール消毒の設置、マスクがない児童への配付
小学校	うがい、手洗いの徹底
小学校	ケーブルテレビを通じ、体力学力など含めた現在の家庭で過ごし方を放映してもらっています。
小学校	これまでのインフルエンザ対応と同じ
小学校	さらに丁寧な健康観察、児童の所在確認、例年実施しているインフルエンザ等感染症対応を職員間で共通理解した上で、保護者や地域に協力を求めている。
小学校	さわるところを消毒、換気、毎日検温し、健康観察カードに記入、
小学校	スタンダードプリコーション以外出きる対策はない。 換気扇をまわし、教室内の換気を効率的に促すことくらい。あとは、市町村への働きかけ→公費での消毒液、マスクの備蓄量を増やすための予算の増額もしくは、市からの現物支給(市で十分な量のローリングストックをしてもらい、こうしたマスク不足などが起きないように地元の経済をまわしてもらう) この機会に１クラスの定員を引き下げ、教職員の増員を働きかける。
小学校	タブレットを配布した５年生はロイロノートを活用して、毎朝8：30に全員ログインして健康観察や当日の学習予定を提出させるなどを実施。 要養護児童については登校日などに本人に会えない場合、関係機関へ相談、家庭訪問等の実施。
小学校	テレビのニュースの情報や、教育委員会からの連絡によります。
小学校	ドアノブ、手すりの消毒
小学校	ドアノブや手すり等の消毒（1日1回） 登校児童の健康状況把握
小学校	フェアキャストやマチコミなどで、情報を保護者に知らせる
小学校	ホームページ、安心メールでの呼びかけ家庭訪問（安否、状況確認）
小学校	ほけんだよりに簡単な1人や2人でできる運動を載せる
小学校	ほけんだよりの発行、出欠確認(欠席理由の確実な把握)の強化、校舎内の消毒、手洗い・アルコール消毒・換気の呼びかけ、校医への相談、
小学校	ほけんだよりやクラスだより、メーリングリストでの各種注意喚起、情報提供
小学校	マスクの配布・手指消毒液の設置
小学校	マスク全員着用、手洗いの休み時間ごとの実施、給食は前を向いて食べる、集会活動の中止など
小学校	マスク着用やアルコール消毒、換気、行事の短縮
小学校	メールでの体調確認
小学校	メールで健康状況確認をしています
小学校	メールで健康状態を把握
小学校	メールや手紙の発行

小学校	よく触れる場所などの消毒
小学校	異動もあり、今後のことは具体的ではないが、児童委員会活動で手洗いの呼びかけ等できると思う。
小学校	一斉メール等で過ごし方の周知、週一回の電話連絡（体調確認、受診確認、過ごし方の確認等）、職員の巡視等
小学校	運動場の開放、保健便りの発行
小学校	家庭での健康観察表を休校前から実施しており、それを休校中も続けて行ってもらっている。毎日保護者から、体温と症状について安心メールをつかって報告してもらっている。 １週目は、担任から全家庭へ電話で状況把握の電話をし、２週目に家庭訪問、３、４週目は登校日を設けて児童の実態を把握している。
小学校	家庭での日々の健康観察をさせている。
小学校	家庭訪問、学習面プリント配布などの配慮
小学校	家庭訪問を実施していますが、教員がクラスターにならないか気になっています。
小学校	改めて手洗い指導、室内の消毒や換気、検温や健康観察、行事への対応等。
小学校	咳エチケット指導(掲示物、ほけんだよりと連携)、また、幼児の実態としてマスクを正しく取り扱うこと(マスクの表面を触らない、マスクの付け方外し方等)が困難なため、あえてマスクの着用を呼びかけることはしていません。かえって感染のリスクを高めてしまう可能性があります。
小学校	各家庭にて、健康観察簿の徹底。新年度回収。
小学校	各家庭に電話して、今の健康状態を確認している。
小学校	各家庭への電話連絡、臨時登校日を設け状況を把握する、
小学校	各家庭への電話連絡をして、子どもの様子を把握している。また、児童クラブに行き、子どもたちの様子を直接見て話をしている。
小学校	学級での健康観察や普段の子供達の様子をよく観察して、早い段階で保健室にて観察ができるように連携を図っている。
小学校	学級担任による定期的な電話連絡と家庭訪問。
小学校	学級担任による電話での健康把握および家庭訪問。
小学校	学校が再開されたら、手洗いうがい換気などの指導と消毒は、していこうと思いますが、程度や回数については悩んでいます。
小学校	学校でも電話で児童の健康状態を把握
小学校	学校のHPに通信として、多職員と定期的に家庭でできる取り組みを載せる予定です。
小学校	学校のホームページで啓発
小学校	学校のホームページに「レジりん通信(心の回復力)」をアップし、一部登校の際に児童に配布した。
小学校	学校のメールマガジンで、定期的にさまざまな情報を発信している
小学校	学校メール配信、学校専用アプリの配信、健康管理票の毎日の記録など
小学校	学事課から配付された「臨時休校中の健康観察票」を用いて児童に配付した。
小学校	学坦は電話で子供の様子を確認職員が交代で学童保育での子どもの様子や生活について見回り

小学校	換気、集団で行う行事の見直し、手洗いの保健指導の徹底やマスクの着用。
小学校	管理職が非常に意識高く児童・教職員に指導をしてくれており、自身の自己管理能力を高めるために、毎日の検温と体調チェックを児童・職員共に臨時休業中に行っており、何かあれば学校に連絡するようになっています。職員は朝と晩の2回、毎日検温しています。また、児童の預かりも、登下校の安全を確保するために、必ず保護者が送り迎えするシステムにしています。
小学校	基本自習だが、普段の日課通りに休み時間をとり、20分休み、昼休みは校庭で遊ぶのも可としている。 児童だけでなく、職員も全員健康観察票を記入提出している。
小学校	机、階段手すりなど、多くの人が触れるところは、毎日消毒を行っている。
小学校	虐待や生活習慣などが心配な児童の家庭には担任または養護教諭、SWなどから電話連絡をして様子を確認している。一斉メールのアンケート機能を使って児童や保護者の体調を確認している。
小学校	休業中，職員は朝晩2回体温を測定し，記録を管理職に提出している。児童は発熱やその他症状があった場合，学校に電話連絡することになっている。
小学校	休業中の過ごし方について記載した保健だよりを学校のホームページにアップした。
小学校	休業中の児童の情報把握（電話等）。登校日の施設の消毒
小学校	休業中の生活チェック(体温、就寝時刻など)
小学校	休業中の体温測定と健康観察。学級担任による、週一回の家庭訪問と健康観察。
小学校	休業日に1回は家庭訪問、特に心配な児童については電話連絡や面談等。預かりの児童については、毎朝受付で検温し、37°C以上の場合には預かりは行わない。
小学校	休校開始前日に健康調査表を配付。（家庭での過ごし方も簡単に記載。)丸一ヶ月休みとなるため毎日記入するものではなく、具合が悪いときに二週間分記入するもの。具合が悪いときにどのような対応が必要かのフローシートも添付。
小学校	休校期間中の臨時の生活リズムチェックを実施し、子ども自身に規則正しい生活リズムを意識させている。また、休校明けに回収・分析することで子どもの生活環境を把握し、保健指導に活かす。
小学校	休校前日に健康観察カードの配布
小学校	休校中、学年は限られているが、児童が持ち帰ったタブレットで毎朝、健康観察ができている。
小学校	休校中なので、2日に1度電話連絡している。 もし、コロナやインフルエンザ等の感染症にかかってしまったら、速やかに学校に電話連絡するよう保健指導やほけんだより、メール送信で徹底した。
小学校	休校中の健康観察を含めた生活リズムチェック表を作成して配付した。
小学校	休校中の健康観察表の記入週に一度緊急連絡サイトでの安否確認など。
小学校	休校中の児童とその家族の体調の把握（学校メールのアンケート）
小学校	休校中は、職員によるパトロールと家庭での様子を知るため、学校メールを活用しています。
小学校	休校中は使用する階段、トイレ等を最小限にし、使用可能箇所については、毎日児童下校後に教職員で一斉に消毒をしている。

小学校	休校中体調不良等の連絡がかかってきたときの電話記録票を作成し、どの職員が電話を受けても質問事項に漏れのないようにしました。その上で新型コロナウイルスの可能性がある児童が出た場合は、作成したフローチャートのっとって管理職と相談し合う手順も準備しました。 また、児童クラブが校内に設置してあるので、新型コロナウイルス感染予防対策などを、子どもたちに、ミニ授業を行い、児童クラブへ資料提供などを行いました。 虐待傾向があり、家庭に長期ることが心配な児童へは家庭連絡や家庭訪問などを担任が行ったときに様子を聞いて、情報共有化をはかっています。
小学校	教室や廊下、水道、トイレの蛇口など、人が触れる部分の消毒 職員のメンタルケアとして、みんなで一緒に昼食を食べる日を数日設けた
小学校	月曜日や休み明けの健康観察の徹底
小学校	健康カード（起床時刻、体温、歯磨き、排便、就寝時間、体調を記入し、登校日に担任が確認）、学区内見回り、健康状態把握のための家庭への電話連絡等
小学校	健康カードの記入
小学校	健康カードへの記入のお願い、メール配信による健康観察（アンケート方式）
小学校	健康カレンダーの実施
小学校	健康チェックカード
小学校	健康チェックカードを、配布し毎日実施させる
小学校	健康チェックカードを作成し、毎日の体温、健康状態を記録するようにしている。登校日には回収し、全ての児童の休み中の様子を把握している。また、担任による家庭訪問を実施し、健康面や生活面の指導を行っている。
小学校	健康チェックシートバイタルサイン等
小学校	健康チェックは、電話ではなく このアンケートと同じGoogleを使って毎週行い、返答のない家庭と心配なお子さんに電話するという、スクリーニング方式にしています。600人以上児童がいて、外国籍も数十名いるので、とても便利です。
小学校	健康チェックリストの作成・配布
小学校	健康に関し自己管理の必要性を指導したい
小学校	健康観察、手洗い、換気の徹底 1人で、登校させない。集団通学
小学校	健康観察、相談の充実
小学校	健康観察。登校数日前には、メールで毎日確認。
小学校	健康観察カード
小学校	健康観察カードによる健康状態チェック
小学校	健康観察カードの配布
小学校	健康観察チェックシートの朝晩の二回の検温の徹底。毎朝、手すりやドアノブなどの消毒の徹底(毎日なので、結構時間かかる)
小学校	健康観察チェック表と保健便りの内容の工夫
小学校	健康観察の強化、感染者への差別、いじめ対策
小学校	健康観察の強化、具体化 健康観察票を毎週配布、家庭で児童が自分でできるように指導

小学校	健康観察の仕方の再確認
小学校	健康観察の徹底
小学校	健康観察の徹底、児童への保健指導の実施（咳チケットや手洗いの徹底、規則正しい生活）
小学校	健康観察の用紙記入、備蓄マスクの配布、アルコール消毒
小学校	健康観察記録表を配布し、毎日検温している。
小学校	健康観察及び健康管理について、これまで伝えてきたことをさらに丁寧に実態にあわせて伝えています。また、保護者にデマや風評被害に加担してしまう傾向があるため、正しい情報を選択することの重要性、地域の人的資源への理解を促す情報発信をしています。
小学校	健康観察票の継続実施。うがい、手洗い、換気の徹底。
小学校	健康観察票を配布し実施担任による家庭訪問電話確認
小学校	健康観察表の活用、ほけんだよりの配布
小学校	健康観察表を受け入れ児童には配布した。新学期も必要があればやる
小学校	健康観察表配付。トイレのハンドルやドアノブ、手すり、水道などの消毒 家でできるストレッチの紹介、
小学校	検温チェックシートを児童に配付し、臨時休業中から春休み中は、毎日検温させることにしている。また夏休みと同様に、生活のスケジュール表や歯みがきカレンダーなどを配付し、生活習慣を整えられるよう呼びかけている。小規模校であるため、1週間に1回は担任が電話連絡や家庭訪問を行い、児童の健康状態の把握に努めている。
小学校	検温等、毎日家庭での健康観察の継続
小学校	検温表の継続。体温計の購入。修了式は2学年ずつに日程を分け、昇降口もかぶらないようにする。
小学校	検温表の提出
小学校	検討中
小学校	県から出されている様式での健康観察、アルコール消毒、換気など
小学校	県から出た健康観察カードの使用
小学校	県や市教委ででている取組です。登校日に行う卒業式練習はクラスごと、歌の練習は考慮する。
小学校	現在は、留守家庭受け入れ児童の健康管理、手洗い指導、環境衛生の注意。休校中の児童については、学校一斉メールで３回程健康確認があり、気になる児童の家庭に電話連絡しています。休み中の生活チェック表など、配布予定。
小学校	個別の健康観察カードでの健康状態の把握
小学校	個別の健康観察の徹底、換気、手洗い、うがい、マスク着用、一般的な予防法の徹底
小学校	校長のリーダーシップのもと、定期的に担任が電話で体調や学習、ゲームの時間の確認をしている。小規模校だから可能でもある。
小学校	校長の判断で、4日以上風邪症状が続いている児童については学校に連絡するよう各家庭に通達した。
小学校	校庭開放による遊び場の提供

小学校	校内に入る前の手洗いや消毒、測定関係はクラス毎、健康観察カードを家庭でやってから登校、体育は筋力の様子を見ながら負荷をかけてもらう、始業時に担任から落ち着いて動くように児童に声かけ、登校渋りが出る前提で動ける準備
小学校	校内の消毒、職員への周知
小学校	今回は、病原性が強くないので、このまま収まっていきそうですが、将来に向けて、感染症予防教育の機会にしたいと考えています。
小学校	市からの通知に基づいて速やかに連絡、対応しています
小学校	市教育委員会から配付されたアルコール消毒液で児童手指の消毒を行っている
小学校	児童、保護者両方からのアンケート調査
小学校	児童と教職員の健康、検温チェック
小学校	児童には個人の臨時休業期間中の健康観察表を作成して配布、職員へのマスク着用と手洗いうがい、手指消毒の呼びかけ、施設設備のこまめな消毒
小学校	児童に運動やお手伝いを含めた生活面や学習面（課題）を学校で統一したスケジュール表を配布し、毎週担任がチェックしている。
小学校	児童の健康維持のために、運動場の開放、その見守り。児童の登校前の消毒作業。登校前の健康観察の強化。
小学校	児童登校時(卒業式、修了式)の健康観察の流れを教職員に提示した。
小学校	児童登校時の校内の消毒
小学校	時間、学年を決めて学校開放を実施します。
小学校	自主登校児童の健康チェックとともに、職員の検温も毎週しています。教室も毎日洗剤で拭き取り消毒しています。気休めかもしれませんが。
小学校	自宅でしっかり健康観察を行ってから登校するようにカードを配布する
小学校	自宅でしっかり健康観察を行ってから登校するようにカードを配布する
小学校	自宅でしっかり健康観察を行ってから登校するようにカードを配布する
小学校	自宅での健康観察、電話での健康状態の確認、家庭訪問
小学校	手あらいうがいアルコール消毒の呼びかけを１時間毎に行う。マスクの全員着用を呼びかけ。席は間隔を開けて座るようにしている。
小学校	手荒い石鹸を泡石鹸にして、手洗いの徹底。給食当番が行っている手のアルコール消毒を全児童に実施したいと考えている。
小学校	手指のアルコール消毒 塩素系消毒剤による環境消毒 行事でのマスク着用 感染予防教育
小学校	手指消毒液がほぼないので、手洗いの徹底。朝の検温をして登校させる。
小学校	手指消毒液の使用、手洗いうがいや換気の徹底、集団で集まる行事の自粛
小学校	手洗い、うがいの徹底呼びかけ
小学校	手洗い、換気
小学校	手洗いうがいの励行、換気の徹底、加湿器の使用、毎日の検温チェック、咳エチケット(マスクの着用)

小学校	手洗いうがい換気の呼びかけ、座席を離す、グループにしない、手指消毒、よく手の触れる物の水拭き・消毒、咳が出ていたらマスク着用(要検討：別室にする)など
小学校	手洗いのやり方や咳エチケット等の保健指導の実施
小学校	手洗いの呼びかけ強化、ハンカチの持参呼びかけ、換気呼びかけと休憩時間の見回り ホームページや保健だよりでの呼びかけ、健康観察の視点を明確化する
小学校	手洗い指導、アルコール消毒
小学校	受け入れ児童すべてにマスク着用させている
小学校	週1回の家庭訪問を実施。児童の様子を担任が把握している。
小学校	週1回の電話連絡と家庭訪問、児童・職員の健康状態把握(毎日の検温)、預かり児童は保護者が送迎(子どもだけで登下校させない)、使用した教室やトイレ等の塩素消毒(毎日)
小学校	週に1回電話連絡による健康観察の実施 運動不足解消のために学校校庭の使用許可 校区内やデパートなどの巡回指導
小学校	週に一度の宿題配付と毎日の地域パトロール、メールでの感染予防の啓蒙
小学校	週に一度の電話訪問において健康観察を念入りにする
小学校	週一回の担任による家庭訪問
小学校	春休み中の健康状態については、健康観察カード(体温や症状の有無をチェック)を配布した。家庭での健康観察や新年度の健康状態の確認に役立てたい。
小学校	消毒の強化と登校前の検温の実施
小学校	新型コロナ感染症に限定するのではなく、感染症予防の指導を繰り返し継続的に実施。
小学校	人混みに出ない、自宅ですごす
小学校	生活や健康をチェックするカードの配布、生活の仕方についての決まりについて保護者への周知等
小学校	生活リズムチェックカードの取組
小学校	生活リズムチェックを活用し、休業中も規則正しい生活を送り健康に過ごせるようにしている。
小学校	生活リズムを崩さないようにスケジュール表を各自で作り、すこやかチャレンジ（自己点検表）を記入するように働きかけました。
小学校	生活リズム点検カード、通信
小学校	生活記録表、運動・食事・おやつについてのお便りの配布。学級指導向け資料の配布。
小学校	生活習慣チェックを行い集計している
小学校	生活表に健康面と運動面の項目を入れた
小学校	石鹸を固形から泡状のものに変えて、手洗いの徹底を図る。
小学校	全教職員が消毒方法のポイントや方法を理解すること。掲示物の工夫。保健室では、1人触ったらアルコール消毒
小学校	全校保健指導(休校前)、消毒液、マスク、体温計等の調達、学校医、管理職との連携など

小学校	全児童と教職員の健康観察記録を実施中（体温測定を含む）
小学校	全児童への体温カードの配付。預かり児童には必ず体温表を提出させ、高い場合は預かれない。
小学校	相談窓口の周知、週１回の家庭訪問
小学校	卒業式は6年生のみで保護者は各家庭で2名のみ参加(約30分)、修了式は登校日とし各教室でテレビ放送により修了式の実施
小学校	卒業式を実施することになりましたが、その際に卒業生と教職員のみという形にして、全員がマスクを着用できるように、マスクがない場合には学校に残っているものを配付します。また、席の間隔を広げて座るなどの取り組みを行う予定です。
小学校	体温の記録継続健康観察の強化手洗い，換気の励行
小学校	体温測定、健康チェックカード配布、心配される家庭に電話連絡、受け入れ児童の校庭使用
小学校	体温測定、電話での体調確認(家族もふくめて)と安全確認
小学校	体温測定。手指消毒。
小学校	大人がウイルスを媒介することが多いと思うので、保護者・教職員の健康状態の把握や感染源とならないための啓発を行う予定である。既に児童に土日を含む問診票を配付しており、発熱や呼吸器状態を知る指標としている。発熱がある場合には登校を許可していない。
小学校	担任からの電話連絡により、児童の健康状態を把握している。(毎日の体温確認・記録)
小学校	担任が足並み揃えた確実な指導をできるよう、パワーポイントで指導教材を作りたい
小学校	担任による家庭訪問
小学校	担任の家庭訪問時に、保健だよりを渡してもらい、情報提供する。
小学校	地域の見まわり、家庭への定期的な電話連絡(健康状態の確認等)
小学校	地域の見まわり、家庭への定期的な電話連絡(健康状態の確認等)
小学校	朝の健康観察と家族の健康情報把握
小学校	朝晩の検温表、玄関でのアルコール消毒、マスク未着用者にマスク配布
小学校	長い休み時間を5分早く切り上げて、手洗いうがいの時間を確保する。 天窓の常時、開放。 給食の座席配置について、グループではなく前向きで食べる。
小学校	定期的な電話連絡、家庭訪問
小学校	定期的に電話連絡や家庭訪問を行っている。
小学校	電話での子どもの健康状態等の確認
小学校	電話などでの児童の健康状態把握。
小学校	電話訪問
小学校	電話連絡・家庭訪問・登校日を設ける
小学校	電話連絡での児童の様子の確認。（相談しやすい学校に。）校区内パトロール。突然の休校だったので、特に心に響く卒業式・修行式になるように掲示物・贈り物の作成。
小学校	登校後の手指消毒、体調チェック、体温測定くらいしかできていません。

小学校	登校時の検温。赤外線センサーの額て検温できるものを使って全員の測定。しかしながら、体温計が品薄で売ってない。
小学校	登校前の検温、健康チェックカードの提出、マスク着用の徹底、咳エチケット等の指導、手洗いうがい換気の放送を休み時間に入れる
小学校	登校日があるため、引き続き家庭で過ごす際に懸念される健康被害防止について保健だよりを発行する予定です。
小学校	登校日に欠席した児童の安否確認
小学校	保健だよりでのコロナウイルスの予防呼びかけ
小学校	保健だよりの配布、手洗い・消毒、マスク着用の声かけ、環境消毒、換気
小学校	保健だよりや学校メールでの啓発
小学校	保健委員会による啓発ショートムービー作り
小学校	保護者が登録している一斉メールによる呼びかけ。
小学校	保護者の付き添いがあれば、校庭を解放しました。これにより、少しだけ運動不足解消やストレス発散になればと思います。学童入ってる児童に対しては時々、様子を見にいっています。健康観察カードに体温や体調について記入されているので、そのチェックをしたり、子供たちに直接声をかけて体調を確認しています。また、学童の先生も不安や心配を抱えているので、相談にのっています。お互いに協力して対応しています。
小学校	保護者へのメートル配信での、アンケート機能活用。子供の健康状態をメール一斉送信で確認できるので、教員、保護者共にストレスなく把握できる。
小学校	本市では、Googleフォームで、各家庭から毎日児童の健康状態を報告してもらっています。
小学校	毎朝の検温のお願い、給食時の向き
小学校	毎朝の検温の呼び掛け、マスク着用の徹底
小学校	毎朝の検温を記録し提出
小学校	毎朝検温してから投稿するように、カードを作成して記入できるようにする。
小学校	毎朝熱を計る
小学校	毎朝預かり児童が使用する教室やトイレなどの消毒を行うのと、児童がいつでも消毒できるよう部屋にアルコール消毒の入ったディスペンサーを置いておく。 健康観察カードを児童・教職員に行い体調の把握をする。
小学校	毎朝預かり児童全員の検温、マスクや換気の呼びかけ、咳の有無など健康観察
小学校	毎日、学校ホームページやメールで学校から家庭へ情報を発信するようにしています。
小学校	毎日、体温測定カードで体温を確認する。 （家庭で体温測定） 非接触型の体温計を購入した。保健室で使用。毎日の体温測定カード忘れの児童にも使用する。
小学校	毎日の学校からのメール配信、保護者からの相談受付(児童の心身の健康について)、要配慮児童への担任からの電話連絡、卒業式実施にあたり時間を短縮したり参加者を制限したりマスク・消毒・換気の徹底を行うこと、登校日の設定にあたり学年ごとの時間差登校とすること

小学校	毎日の学校からのメール配信、保護者からの相談受付(児童の心身の健康について)、要配慮児童への担任からの電話連絡、卒業式実施にあたり時間を短縮したり参加者を制限したりマスク・消毒・換気の徹底を行うこと、登校日の設定にあたり学年ごとの時間差登校とすること
小学校	毎日の検温 手洗いうがいの指導 健康観察の徹底
小学校	毎日の検温、健康観察、手洗い手指消毒、ホームページやMAILの活用、
小学校	毎日の検温、生活チェックシートの記入。
小学校	毎日の検温と健康観察を記入するカードを作成し、児童だけでなく教職員も取り組んでいる。また、決まった時間に手洗いやよう校内放送で呼びかけをした。
小学校	毎日の検温と体調についてのチェックカードの配布 児童が登校する前日の全児童の机といすのアルコール消毒 手洗い・アルコール消毒の呼びかけ
小学校	毎日メールで子供達の健康状態を保護者に送ってもらい、臨時休業中も子供達の健康観察を行なっている。
小学校	毎日検温し、健康観察カードの記入をする
小学校	毎日検温し、提出を求めている。
小学校	毎日児童の健康状態や生活状況を入力してもらったり、教員が巡視に回ったりし、状況を把握できるようにしている。だが、２週間が過ぎ、外出する児童も増えてきており、児童・保護者ともに制限される生活に限界がきているのかなとも感じる。
小学校	毎日保護者に健康観察を行ってもらえるように、健康観察表を配布した。臨時の保健だよりを出し、学校だより・春休みの過ごし方等にも新型コロナウイルス感染症の予防について書いていただいた。
小学校	明るい気持ちになるよう、手洗いソングを新たに録音し、預かり児童への手洗いの指導に流している。 職員同士の健康観察で、声をかけあう。体温測定の促し。この機会に手洗いの定着。 用務さんの協力を得て、時間で、学校の蛇口などの消毒を行っている。 職員へ、新聞の切り抜き他、情報の提供。等々。
小学校	預かりの児童については、健康チェックカードを作り毎日提出してもらってます（体温、咳の有無、だるさの有無）。体調が悪い時は熱がなくても早退してもらっています。
小学校	預かりの児童は朝晩の体温チェックカードを使用、確認している
小学校	預かり児童の検温、メールでの安否確認
小学校	預かり児童は保護者の送迎のみ。本来の修了式を登校日とするだけでなく、もう一日短時間の臨時登校日を設置。
小学校	幼稚園は「保護者の負担に考慮」という理由から休園の対象になっていませんが、集団保育のリスクから保護者が監護できる家庭は登園を自粛するよう協力依頼をしました。7割近くの家庭が小中学校と同様に自宅で過ごしています。

小学校	臨時のほけんだよりの発行。毎日の検温と健康観察の実施、記録表の作成と配布。
小学校	臨時の保健だよりの発行 相談室だよりの発行 体温測定表の作成、実施の依頼
小学校	臨時ほけんだよりの発行、検温の実施
小学校	臨時休業に一度、全家庭に連絡し、健康状態や感染リスクの有無について確認している。
小学校	臨時休業中、検温、健康チェック表とは別に生活習慣管理表を配布しているので、今後もしばらく続ける予定です。
小学校	臨時休業中、全児童の健康観察を行っている。
小学校	臨時休業中に自宅で活用する健康観察表を配布した
小学校	臨時休業中の過ごし方についてお便り(学校、保健)、メールで周知。 毎日の検温、健康観察 学区内のみまわり。 期間を設けて集金、保護者に学校に来てもらい 家庭での様子を担任が把握 など
小学校	臨時休業中の過ごし方をほけんだよりを通して家庭に配付。登校日は、各学級での手洗いうがい・顔洗い・マスク着用の徹底。校内に消毒液を設置。
小学校	臨時休業中の健康生活チェックカードを配付して、児童が自分の健康と生活を振り返ることができるようにしている
小学校	臨時休業中は週に1回の電話連絡をして、健康状態を確認している。
小学校	臨時休校の前日に急遽保健だよりを作成して、放送での修了式で保健だよりをもとに指導した。
小学校	臨時休校中に、学習道具を取りに来た際、全員に健康観察を行った。
小学校	臨時休校中の生活の乱れを防ぐために、生活チェック表を配布した
小学校	臨時登校があるため、全児童に健康アンケートを実施予定。
小学校	臨時登校日に「健康面と生活面のチェックシート」を実施し、持ち帰らせました
小学校	臨時登校日を設け、健康状態の把握に努めている
小学校	冷水機や手すり等の接触防止の貼り紙。アルコールに替わる手指消毒液の確保。(セラ水)
	中学校における取組

中学校	・健康観察表を配布し、家庭で毎日検温をお願いしている。（用紙は提出義務はない。）同様に教職員も行っている。 ・手で触れる部分のアルコール消毒。アルコールが手に入らないので、次亜塩素酸ナトリウムを薄めた液で消毒している（朝１回実施。）生徒がいない日は教職員の動線を考え実施している。 ・１～２時間に１度換気。（１０分間） ・手指消毒用アルコールを玄関と流しに設置。 ・コロナ対策の掲示物や手指消毒の仕方の掲示物を設置。（厚労省の資料より。）
中学校	・校区内巡回 ・担任等による電話等での状態確認 ・運動や日常の過ごし方の指導など
中学校	・担任による生徒の健康状況の把握 ・保健指導
中学校	・別室対応 ・体温計各クラス一本配布 ・手の消毒スプレーは無くなってきたので、ハイターによる手の触れる箇所の消毒 ・咳エチケットの教育 ・休講中に配布した健康観察記録表の確認(健康観察記録表も県で統一してほしい。市町村や個人に押しつけられると、養護教諭の職務にも差異がでます。結果として家庭や子どもに影響出ます。)
中学校	・毎日学校安全メールを保護者に配信し、生徒の健康状況を回答してもらい、把握している。
中学校	・毎日検温をして記録するように、健康観察カードを配布した。(次回の登校日に提出) ・毎週、担任による電話連絡での生徒の健康状態・生活状況の把握
中学校	○ホームページに感染症情報や予防のための対策について掲載 ○電話連絡や家庭訪問による生徒の状況把握
中学校	1・2年を対象に週一回の登校日を設定。学年ごとに曜日を変え、クラスも時間をずらして設定しています。 昇降口でアルコール消毒を行い教室に行き、一週間の健康観察表(検温、睡眠時間、体調、食欲など)、課題の提出をし、新たな課題を配布しています。また、配信メールやホームページを活用して情報発信をしています。
中学校	1週間ごとに生徒の安否確認を行なっている。不安を軽減するため、各分掌からプリントを配布している。保健だよりでは、コロナウイルスの最新情報やストレス解消法、運動不足解消に役立つ動画サイトの紹介を行っている。
中学校	3日に一度のペースで学級担任が、電話連絡をし、体調・学習・運動面等について本人や保護者と話をしている。
中学校	HPやメール配信にて、生徒や保護者へのメッセージをできるだけ温かい言葉を使って配信している。事務的な連絡に一言添えることを心がけている。

中学校	HQCシートを休業日分書けるように配布し、保健指導をした。各学級&全校放送
中学校	HQCシートを休業日分書けるように配布し、保健指導をした。各学級&全校放送
中学校	SNSを利用し、保護者様への情報提供。家庭訪問。
中学校	アルコール消毒剤の設置、保健室からの課題（生活リズム等の生活点検票の配布回収）
中学校	さいたま市教育委員会の指示に従って行っているので、今の所、学校独自で行う取り組みはあまりないと思う。
中学校	スクールカウンセラーさんと相談しました。集会など集まる機会はつくることができなさそうなので、おたよりをつくって下さるので、それをもとに担任の先生から各クラスで話してもらい、メンタル面でのケアを考えています。
中学校	ブログで発信している
中学校	ホームページに小さい保健だよりをアップしてもらう。
中学校	ホームページやメールによる情報提供、電話での家庭確認、心配な家庭への家庭訪問。会議による生徒の情報の校内共有。
中学校	マスクやアルコールの備蓄は確実に行なっています。（手作りマスクなど）
中学校	メールアドレス登録による保護者への連絡体制
中学校	メールを利用した保護者への連絡、健康観察記録表の配布、学校周囲や近隣施設の見回り、生活チェック表の配布、保健だよりや保護者宛文書の配布、マスク・消毒液の設置、手洗いの呼びかけ、登校日における運動の時間の設置
中学校	メール機能を利用した健康観察
中学校	メール配信により情報を知らせること。今週からは校庭開放を行い運動の機会をつくる。家庭訪問による生徒の健康状態の把握。
中学校	安心メールの活用
中学校	安全・安心メールや学校ホームページを活用性手の情報提供
中学校	一斉メール配信等で情報発信（学校より）
中学校	家庭での健康観察の実施 出校日の健康観察や検温 ドアノブなどの消毒
中学校	家庭での体温測定をし、記録の依頼を行っている。
中学校	家庭での朝の検温、学校での換気と液体石鹸による手洗い
中学校	家庭への電話やメール配信
中学校	家庭訪問、電話連絡で生徒の様子の把握や学習支援を行なっている。また、ホームページ、メール配信です生活の配慮事項等を送っている。
中学校	家庭訪問や電話連絡、地域の巡回、見回り
中学校	家庭訪問を一人一人行い、学習と共に健康観察を行っている。
中学校	家庭訪問を週に1度実施し、生徒の状況を把握。
中学校	改めて生活習慣や手洗いの指導をした。
中学校	咳エチケットやマスクの着用依頼、換気の励行、手洗いや手指消毒の呼びかけ、濡れタオル設置、保護者への情報提供、休業中の安全確認の連絡、卒業式簡略化
中学校	学級担任から、ほぼ毎日、電話で生徒に連絡を取り、生活や健康状態の確認を行っている。
中学校	学級担任が電話連絡し、体調や生活面の確認をしている。

中学校	学校のHPに心のケアを中心とする保健だよりを掲載することができた。
中学校	学校ホームページで情報発信
中学校	学校安心メールで、週に2回、健康状態を報告してもらい、発熱のある生徒には学校から体調の詳細を電話で確認している。
中学校	感染拡大防止に向けた環境整備、発熱者への対応について、校内体制の整備や共通理解を図るなど。例えば、各教室への消毒薬の設置や発熱者の隔離部屋の設置など。
中学校	換気と石鹸による手洗いの励行
中学校	管理職に相談し、学校のブログにおいて「保健室から」の発信を行っています。体と心の状態について、カウンセラー来校日のお知らせ、保健室での相談受付、感染症についての情報発信、教員も学校のワックスがけや卒業式準備を全力で行っていること(小田和正自分にできることやろうのメッセージ)などなど、保健情報とその他ちょっと気がゆるむような内容で、、。
中学校	休業期間中，毎日，健康観察表に朝・夜の検温の結果や症状の有無を記入している。
中学校	休業中の健康観察を記入ほけんだよりにて、普段通りの健康管理に努めること今できることを考えようと呼びかけた
中学校	休業中の健康観察表(体温を測定)の提出
中学校	休業中の生徒のストレス対応について、学校のHPに資料等を掲載した。
中学校	休業中は、毎朝検温をするように指導している。（学校再開後も実施する予定） アルコール消毒の設置。 学校再開時には、教室の換気や手洗いの徹底のために放送を入れる予定である。
中学校	休業中も健康カードを使って、生徒の健康状態を確認している。
中学校	休校前手洗い、換気の徹底など感染予防について、お便りをだすとともに担任から、指導した。 学校からの連絡メールで、生徒、保護者あてに、予防や学習、心配なことなどがあった時の対応について配信した。また、気になる生徒には、電話または家庭訪問で様子を聞くようにしている。 午前と午後、学区内を教職員によるパトロールを実施している。
中学校	休校中、毎日検温表に記入。 昇降口で検温表の提出、忘れた生徒はその場で検温。教室に入る前に手洗い。
中学校	休校中にもHPでの呼びかけ、担任からの電話等による健康安全面での啓発
中学校	休校中は、体温を毎日記録させている(市からの指示)。登校日には、体調チェックカードに記入させて、短時間で把握することを試行中。登校日は、教室に20名程度になるよう、時差登校させる。昇降口でアルコール消毒をし、マスク着用を確認。体調が思わしくない場合は、そこで申し出をさせて、教室に行かせない。そのような流れをフローチャートで職員に周知。

中学校	休校中は持ち帰ったタブレットでの健康観察を実施している。登校日前の校内の消毒。登校時はまず手洗いうがいを済ませてから教室に入る。朝の健康観察で前日や当日の朝、体温が37度以上の場合は保健室で検温。状態を確認し風邪症状がある場合は早退。
中学校	休校中も安心メールを活用し、全家庭に健康・安全に関する指導の周知ができるし、生徒や家族の健康状態（新型コロナウィルス感染の疑いも含め）を報告してもらうように周知した。
中学校	救急処置の症状別ゾーン分けと対応（軽症・重症・別室・ケガその他）、保健だよりの配布、担任による新型コロナウイルス感染症についての心身の影響や予防。運動の推奨、登校日や卒業式等時の衛生的対応、聞き取りシートの活用など
中学校	教員の定期的な家庭訪問
中学校	教職員によるトイレ水道の清掃消毒。石鹸の網の消毒。地区巡視。
中学校	健康チェックカードの記入
中学校	健康チェックカードの配布。臨時休業中の過ごし方を入れた保健だよりの配布。個別登校時のマスクの着用、アルコール消毒の徹底。
中学校	健康チェックカードへの記入（毎日の体温測定含む） 担任による家庭訪問 心配な生徒や保護者との個別の面談 教職員による学区見回り 学校の清掃 ホームページなどの活用など
中学校	健康チェック表4月末まで配布。教員も含む。施設の消毒。手洗い、キッチンペーパーでハンカチ忘れの人に対応。
中学校	健康確認メールを週二回送って確認
中学校	健康観察、マスク、消毒、手洗いなどの徹底。基本的生活を守る
中学校	健康観察カードの継続とイベントへの参加の自粛など。
中学校	健康観察カードを生徒と職員に配布して、毎日記録するようにした。 学校施設内を消毒した。 ハンドソープを石鹸から泡石鹸に変えた。 生徒昇降口にアルコール消毒液を設置した。 登校日にお便りを配布しました。
中学校	健康観察カード配布(体温、体調、起床時間、朝食、排便等記入)、臨時登校日にマスク配布、手洗・アルコール消毒、換気
中学校	健康観察チェック、手指消毒、学校ホームページにおたよりの掲載
中学校	健康観察と手洗い等の徹底。メンタルヘルスの資料準備。
中学校	健康観察の強化
中学校	健康観察の強化、メンタルケア、感染症予防(手洗い、空間除菌、環境整備)
中学校	健康観察の強化、手洗い・うがい・換気指導の強化
中学校	健康観察票
中学校	健康観察票の活用、家庭訪問
中学校	健康観察表の配布、回収
中学校	健康観察表の配布や家庭訪問など

中学校	健康観察表を自分でつけるように宿題を出している
中学校	検温、アルコール消毒、マスクのほかはまだ考えていない。
中学校	現在、感染症に、かかっていないという現状のなか、無理の無い範囲で、家庭訪問や電話連絡を行い生徒の健康状態を把握しているのが現状。来週は、通知表を保護者に取りに来てもらう際に、確認するなど、定期的に健康状態や家庭での様子を確認するのが、やっとです。
中学校	個人用の健康観察表を作成して、心身両面から、健康状態を把握したい。
中学校	固形石鹸から液体石鹸へ変える。休み時間だけでなく、授業半ばでの換気の徹底。
中学校	校舎内の消毒、
中学校	今ある健康観察の、精度を上げ、徹底する。
中学校	今までは手指消毒を3月末でやめていたのですが、今回は消毒液が確保できる限り4月以降も継続する予定です。また、保健便りなどを通じて本人や保護者への情報提供をしていきたいと思っています。
中学校	今休業中にできることは環境衛生かと、日々清掃に励んでいます
中学校	今後、校内で発生した場合、感染した生徒や家族への配慮
中学校	子どもたち、一人一人が自分の健康を守るためにすべき事などを色々な機会に伝える。
中学校	市からマスクを提供してもらいました
中学校	市教委からでた体温記録票の休業中の活用について学校内で共通理解の元行えています。また、文科省等からの情報を元に臨時で保健だよりを作成し、市内の新型コロナウイルスについての相談窓口を案内したり、医療機関受診の目安を情報提供したりしました。
中学校	市教委より消毒用アルコールが支給されたため、分散登校実施時に手指の消毒を行わせています。
中学校	自宅での検温、健康観察の継続
中学校	手指アルコール消毒液を昇降口、職員室、主事室、事務室、全教室に設置。時差登校日に、通学路の交差点や正門、昇降口で教員が生徒を迎え、安全確認、健康観察。換気、手洗いの徹底。卒業式で全員マスク着用。トイレや水道に手洗いポスター掲示。欠席者へは担任から電話連絡。電話連絡が繋がらない家庭へは、家庭訪問。
中学校	手指消毒の日常的に継続、給食はグループにせず前向きで食べる、換気の強化など、インフルエンザ流行時よりも強い対策をしていこうと思います。
中学校	手指消毒用の薬剤の準備や施設消毒用の薬剤の準備。健康観察の継続。
中学校	手洗い・手指アルコールの徹底、毎日の体温測定
中学校	手洗いうがいとアルコール消毒の励行
中学校	手洗いうがいの徹底生徒自身の体調を整え、免疫力をあげる
中学校	手洗い指導。手指のアルコール消毒。臨時休業中用に健康観察カードを家庭で記録するように配布しました。
中学校	受験生へのマスク配布、アルコール消毒の設置、一斉メールでのコロナよぼうについての周知

中学校	修了式の日に、この緊急事態下でのメンタルヘルスに重きを置いた保健便りを配布する。本校職員への相談や外部相談先の提示。
中学校	週1回家庭連絡および心配な生徒の家庭訪問
中学校	週１回程度の家庭訪問
中学校	週に一回以上は家庭連絡し、健康状態や生活状況の聞き取りをしている。
中学校	週に一回家庭訪問をしています
中学校	週に一度程度、学年毎に登校日と家庭訪問を併せて実施。 登校日は、全員が一斉に集まるのではなく、時間に幅を持たせて自由に登下校する形で行っている。 家庭訪問は、玄関の外で生徒と対面する形で行っている。 地域の巡回も実施している。
中学校	新型コロナに関する情報共有、教職員の役割分担、生徒への指導内容の確認・共通理解・共通実践
中学校	生活リズムチェック表を配布している
中学校	生徒、教職員ともに健康観察(検温、症状の確認)を始業式まで行うよう指示している。教職員は生徒の登校日には健康観察表の提出を義務付けてチェックしている
中学校	生徒・教員が毎朝検温し、健康観察カードに記入。行事時はそれをもとに、マスクの配布。
中学校	生徒は、体温記録表（朝・夕）・生活記録表を毎日記入している。
中学校	生徒への健康観察
中学校	生徒玄関に消毒薬の設置、非接触の体温計の調達、検温の記録の呼びかけ、マスクの着用、換気の徹底
中学校	石鹸でので洗い、水筒持参、mYハンカチの使用などを生徒からの呼びかけ。不審者対応
中学校	卒業式、修了式では、登校後手指消毒、マスクのない者には配付。
中学校	卒業式に対しての感染予防策を運営委員会での立案した。管理職と運営委員の了解を得て進めたこと。内容は会場、教室ののアルコール消毒、マスク着用、合唱の制限、手洗い励行、生徒保護者の健康観察記録簿の作成等。 それをベースに、在校生再登校時の対策を立案した。
中学校	卒業式の短縮と必要な生徒と保護者へのマスクの配布と消毒、修了式・離任式の短縮手洗いの呼びかけ4月までの部活停止
中学校	卒業式は縮小して実施だったが，参加保護者全員の手指消毒を職員が回って行い，マスク持参できなかった保護者へマスクを渡して全員着用とした。
中学校	体温記録表の配布
中学校	体温測定カードを記入し、担任に提出する。計測して来なかった生徒に対しては、保健室から貸し出した体温計を使って、学年単位で計測させるようにしています。
中学校	体調把握のための電話連絡
中学校	担任による電話連絡による健康状態の把握

中学校	中3の卒業まで、時間を決めて質問などを受け付けていた。 卒業式は、時間短縮、換気、アルコール設置、参加者の制限などによって行った。
中学校	朝、家庭での健康観察（検温と体調チェック） 登校日前日と下校後の校舎内消毒（手すり、水道の蛇口、スイッチ、教室のドアなど） 生徒登校後は、手洗いとうがいをし、アルコール消毒してから教室に入る。咳エチケット。
中学校	朝夕の体温測定、毎週月木の安否確認メール配信
中学校	町内すべての学校で、臨時休業の期間中、１日２回の検温と体調を記録する「健康観察カード」が配付されました。（教育委員会が作成）
中学校	定期的な家庭訪問、休業中の健康観察カードの実施
中学校	電話連絡による体調や生活の確認。
中学校	登校日について 10名弱のグループに分けて時差登校。体調不良の場合は登校しない。昇降口でマスクの着用確認。着用していない場合は、学校から支給。手指消毒してから教室へ。 生徒の登校前、下校後に教室の換気。在校時間は30分～1時間未満。 卒業式 参加は卒業生、教職員、保護者は一家庭一名のみ、受付でマスク着用確認。手指消毒。体育館の換気。生徒と保護者の登下校時間をずらして交流させない。式を縮小して終了後は、できるだけ速やかに下校。
中学校	登校日にトレーニングのプリントを配布したり、ホームページを通して新型コロナウイルス感染症予防の情報提供や有酸素運動の方法について啓発している。
中学校	登校日に個人記入の健康観察を作成。下校後に教室の換気、机やドア(取っ手)等の消毒。電話、家庭訪問により生徒の健康、勉強、不安などの確認をしている。
中学校	登校日に行った健康調査の結果においても、臨時休校に伴う体力の低下や精神的なストレス、生活習慣の乱れが懸念されたため、日時を指定し校庭を開放することとしている。
中学校	特になし
中学校	年度をまたぐことから、異動等の引継ぎに不安を感じます。資料の整理時に、栄養士や相談型との詳細な打ち合わせをするつもりです。
中学校	保健だより等で、心身の健康について、非常時のような案内,啓発をしていきたい。
中学校	保護者の意識低下を防ぐために、健康観察カードの提出を依頼 定期的に手洗いの音楽をかけ、手洗い及び換気の意識を継続させる
中学校	泡石鹸の設置
中学校	毎朝、体温などの健康管理ができるチェック表を配付した
中学校	毎朝晩の検温を含めた健康観察記録。週一回の担任が電話による健康観察。
中学校	毎日２回体温測定をして記録、体調の状態をチェックさせています。担任が電話にて体調や生活の状態を聞いています。
中学校	毎日の健康観察、近隣のパトロール

中学校	毎日の健康観察、手洗いの励行
中学校	予防の徹底のよびかけ、でも、完璧にはならないので、教員の協力得て、決まった時間の手洗いタイム、換気、手指の消毒、体調チェックカードの利用
中学校	臨時休業中の家庭訪問（子どもへの確認事項について全職員と共通理解を図る）、登校日における手洗い、アルコール消毒の徹底、スクールバスの消毒、子どもによる給食配膳禁止（職員が配膳する）
中学校	臨時休業中の健康観察表の作成配布
中学校	臨時休業中の生活リズムを崩さないために、生活チェックカードを配布する。家庭訪問で担任が確認したりする。
中学校	臨時休業中及び春季休業中の家庭での健康観察表を持たせ、毎日健康観察をさせている。
中学校	臨時休校中の検温カードの配付
	高等学校における取組
高等学校	10月頃から保健だよりに感染症予防について触れており、生徒保健委員会でもクラスの生徒に伝えるよう指導しています。 保健室前の掲示物は感染症予防をテーマに作成、掲示しています。
高等学校	①学校独自で予算を組み、カウンセラーの派遣をお願いするように計画している。 ②マスクや消毒液の物品の整理と在庫把握。学校行事など必要な時には使用する。
高等学校	①時差登校②発熱のある生徒は欠席にならないよう配慮。③昇降口、各流しや化粧室にアルコール消毒設置
高等学校	2月中に2回、新型コロナウイルス感染症についての情報提供を行なった(文書とホームページ掲載)。担任による生徒の健康状態の聞き取り(電話による)。
高等学校	３月の登校日に実施した健康観察において臨時休業中の体調を確認する項目を追加した。
高等学校	Classiを用いた健康観察。
高等学校	Googleclassroomを使って生徒の健康調査やメッセージの確認、メッセージの配信
高等学校	アルコール系手指消毒剤の設置 手荒い石鹸設置 正しい手荒い、手指消毒の仕方の掲示 家庭に朝の健康観察の徹底周知
高等学校	アルコール消毒、マスク着用、検温、健康観察(家族の状況)、適正な行動や場所の選択ができるように等
高等学校	アルコール消毒など
高等学校	インフルエンザの流行対策として今年度より週に１回程度保健委員による教室の除菌・防菌作業を行ったことが新型コロナ感染症予防対策にもなった。
高等学校	お知らせの配布や学校ＨＰでの情報提供
高等学校	グーグルクラスルームを使い、各学年で生徒の体調の確認をしている

高等学校	コロナに伴う症状出現時担任への電話連絡報告、全教職員の朝夕の検温測定（用紙配布） 担任による気になる生徒への電話での状況確認等。
高等学校	スクールカウンセラーと協力して相談活動を丁寧に行っていく。
高等学校	ネットのアンケート機能を利用して、全生徒の毎日の健康調査をしている。
高等学校	ホームページでの安全面の周知、気になる生徒への電話連絡または、面談の実施。カウンセリングの活用。
高等学校	ホームページと一斉メールによる情報発信 登校日設定での健康確認
高等学校	マスク、換気、手洗い、手指消毒の徹底
高等学校	マスクや手指用アルコール消毒液が不足していたので他の学校から借りた。
高等学校	よくふれる場所の消毒作業を清掃時間に入れる(掃除担当者が行うように依頼)ゴム手袋で次亜塩素酸の消毒作業ができたらいいが、消毒液の準備、手袋の準備など徹底できるか検討中
高等学校	家庭環境の課題がある生徒にとっては、学校という安全な居場所が無くなってしまい心配。日頃から学校外の相談窓口、避難場所について教えるとともに、市町村役所への情報提供を行っている。
高等学校	学校が継続的に、家庭に向けて一斉メールやオンラインシステム上にて情報発信を行っており、中にはCOVID19の最新情報も含まれている。
高等学校	学校関係者（生徒保護者教員）のみが閲覧できるネット掲示板で定期的に情報をUPしている。
高等学校	学年ごと分散登校日(荷物整理、学習相談など)を設けて生徒の様子を観察する
高等学校	換気再開したらマスクの配布はしない予定
高等学校	環境消毒。保健だよりの配信。
高等学校	管理職と校内関係教員で検討し、校医・産業医の助言指導をいただいて、感染症予防の基本に基づいてすすめていく予定です。休校中の生徒とは、I-PATを生徒全員が持っているので、担任と繋がっていて、健康状態の把握や課題等での学習への取り組み等できるので、いいと思います。このような感染症では、IT機器の活用をいろいろな分野ですすめるべきではないでしょうか。
高等学校	休業中に担任から生徒に連絡をとり、健康状態の確認を呼びかける。
高等学校	掲示物、アルコール消毒、健康観察の強化など
高等学校	健康観察の充実
高等学校	健康観察の徹底(毎日体温を計測し用紙に記入させる)、消毒や手洗い強化の呼びかけ
高等学校	健康観察個人票を配布（回収予定なし）個人で記録を取ってもらう。
高等学校	健康観察票の配布・記入
高等学校	健康観察表の配布
高等学校	健康状態チェック表の配布 毎日の検温を促す 春休み中の部活動時の体調管理
高等学校	健康診断の実施の仕方について、あらゆるケースを想定して対応できるよう今できる準備をしています。

高等学校	健康診断表(日々の体調記録など)の提出。
高等学校	工夫ではないかもしれませんが、普段から教職員との連携と組織的な対応を行うこと。
高等学校	時間を定めての換気、手洗い消毒励行、ホームページやメール等での感染予防の呼びかけ、アンケートを利用した生活習慣調査、部活動顧問との相談や連携
高等学校	時間差を考慮した登校日の設定。各教室に消毒液設置、換気の推奨等
高等学校	時間差登校日を設ける。縮小卒業式。
高等学校	時折、学校連絡メールやホームページを利用して健康状態の確認や体調不良者に連絡を促すようにメッセージを掲載している
高等学校	時折、学校連絡メールやホームページを利用して健康状態の確認や体調不良者に連絡を促すようにメッセージを掲載している
高等学校	手ピカジェルの設置、暖房をつけ窓を常に開けておく。終業式を学年別に行う。
高等学校	手指消毒、手洗いの徹底。教職員への換気の指導。体調不良時の扱いについて。
高等学校	手指消毒の設置
高等学校	手指消毒用アルコールの設置箇所増設、手洗い方法や咳エチケットについての掲示、健康観察、換気の徹底、式典準備・片付けの際の椅子などの消毒等
高等学校	手洗い・アルコール消毒の徹底、換気
高等学校	手洗いの徹底。咳エチケットの徹底
高等学校	手洗い動画（パプリカの曲で作ったオリジナルのもの）を作成し、手洗い方法について周知
高等学校	小規模校であること、発達段階的に可能であると思われること、プライバシーへの配慮から短冊メモを配付→回収により、健康観察実施予定。
高等学校	昇降口と教室のアルコール消毒 しかし、在庫も残り少なくどうするか？ カウンセラーだより心の健康について、ストレス発散についてなど
高等学校	消毒してから入り口を通るようにしてもらっている
高等学校	新しい情報が出る都度、症状、予防、症状が出た時の対応方法などを臨時の保健だよりで、生徒･保護者に周知した。また配布だけでなく、HPにも掲載した。 登校日は学年ごとに日にちをずらし、教室に消毒液を設置した。
高等学校	新聞から得られる最新情報を保健だよりに載せた。
高等学校	生徒、保護者への一斉メールで健康観察を呼びかけた。
高等学校	生徒が登校してくるときには、手洗い咳エチケットの励行、マスクやアルコールの準備など
高等学校	生徒の健康状態の情報収集を学校全体で行っていきたい。
高等学校	担任から生徒に2日に1回電話やメール等で連絡を行い、健康・生活面について確認をしている。
高等学校	朝の健康観察を丁寧に行い、症状のある生徒がいた場合は、問診、検温を行う。 疑わしい場合は、隔離し、保護者に迎えにきてもらう。
高等学校	朝の検温と健康記録の記録、把握。
高等学校	登校時は生徒・教職員、どちらもマスクの着用を義務化。感知式のアルコール消毒を設置。
高等学校	登校前にネットを利用したシステムでの健康観察

高等学校	登校日に合わせて保健だよりを作成。担任による保健指導に活用してもらう。内容としては風邪症状が出た場合の連絡先や休業中の過ごし方（生活習慣、感染予防、高ストレス時の相談先）など。
高等学校	登校日に保健便り配布(手作りマスクの紹介)
高等学校	日常の健康管理と手洗い換気の徹底。
高等学校	入学時の保護者面談
高等学校	配慮やフォローが必要な生徒に対して、定期的に担任から家庭連絡を行なっている。
高等学校	普段は実施していない健康観察の実施休業中の健康状態の調査など
高等学校	文書による、注意喚起を各家庭に配布した。併せて、 電話による注意喚起も行った。
高等学校	保健だよりでの啓発
高等学校	保健だよりによる情報提供、学校ホームページを使った生徒保護者への情報提供
高等学校	保健たよりの配布
高等学校	保健便り、必要箇所へ手指消毒液の設置、部活再開の際には顧問の指導で手洗いうがいの徹底と健康調査、式典の開催について検討、入学者説明会の中止
高等学校	保健便りの配布
高等学校	保護者宛に注意喚起のお知らせメールを送る、各階の手洗い場に紙コップを設置してうがいを勧める。
高等学校	毎朝の検温と健康観察
高等学校	毎日、管理職から全校生徒に、ネット上でアンケート（質問項目は健康観察票にあるもの）を取り、健康状態の把握に努めている。また、未回答の生徒がいる場合には管理職から担任にできるだけ回答させるよう指示を出している。
高等学校	毎日の健康観察の実施、手を洗おうキャンペーン(生徒保健委員会)
高等学校	毎日健康チェックを配信し、回答してもらっている
高等学校	臨時休校、式典の縮小（時間短縮、参加者の制限、マスク着用）、入試会場のアルコール消毒、アルコール消毒液の設置、学校ＨＰでネット依存啓発防止・スクールライフアドバイザーによる教育相談日を公開
高等学校	臨時休校開始から春休み終了までの「健康観察表」を配付。保健だよりにて手作りマスクの紹介。卒業式は卒業生、職員にマスク配付。
	特別支援学校における取組
特別支援学校	・石鹸による丁寧な手洗いの徹底、手作りマスクの活用、新型コロナ関連情報など、保健だよりやホームページで公開。 ・校内の手すりやドアノブ等の消毒。 ・養護教諭が直接全教室を回って健康観察及び欠席者の確認。 など
特別支援学校	3日おきに担任が家庭連絡をしており、健康状態や保護者のストレス等を聞くことにしています。
特別支援学校	アルコール消毒液があれば大丈夫と思っている生徒が多いため、手洗いの重要性、手洗いの方法は改めて指導した。

特別支援学校	これまでも丁寧な健康観察を行ってきたが、より一層担任と連携して児童生徒の変化を共有し、体調不良者の早期発見・対応に努めている。マスクを着用することが難しい児童生徒もいるため、職員はマスクを着用し、手洗いや手指消毒、環境消毒を励行している。ほけんだよりでも、家庭へ新型コロナについての情報提供を行うとともに、家族を含めた感染症防止対策を依頼している。卒業式・修了式は縮小で実施した。
特別支援学校	マスクの着用、アルコールの配置、咳エチケット、管理職から発信し、職員の共通理解をしてます。
特別支援学校	一斉メールで休業中の過ごし方について随時発信している
特別支援学校	基本的な感染予防（手洗い・うがい・咳エチケット・人混みを避ける・換気・加湿・食事・睡眠など）をすることが大事。基礎基本をきちんとやることが大切だと思う。もし、感染者が出ても、その人や家族を責めないよう人権教育が必要。過度に恐れると、恐怖心が子どもや教員に派生するので、管理職、養護教諭はどしっとかまえる。
特別支援学校	健康チェックカードの導入による、休業中の健康状態の把握及び行動範囲の把握
特別支援学校	健康観察の徹底・保護者からの情報収集
特別支援学校	校長名で体調管理等について文書を配信
特別支援学校	埼玉県立特別支援学校は休校にならなかったので、取り急ぎプールカードの様式を活用して、家庭で検温してもらい登校しています。 検温忘れは、保健室廊下に検温コーナーを作り、体調の悪い子は保健室で検温と住み分けた検温を行なっています。 下校後、保健部員12人で手分けしてドアノブや手すり、電灯スイッチ、机などを消毒しています。 備蓄マスクを学年に配り忘れた子などに使ってもらっています。 縮小した卒業式では、天窓をあけ、席間隔も開け、入場前に手指の消毒をしました。 2月27日から3月13日まで5回ほど感染症対策委員会を開き、周知決定事項については臨時職員集会を開き校長が説明をしました。 3月2日週の欠席は予防のための欠席者は含めて15～18％でしたが、9日集会は10％前後の欠席でした。 県教委から19日を最終日にするよう指導が出て1日早い春休みとなります。
特別支援学校	肢体不自由校でケアを必要とする子どもが多いこともあり、元々個人の消毒液を持参している教員は多いです。（全員ではなく、学校からの指示もありませんが・・・） また、年度当初から全教室に体温計を配布し、グループ担任が気になったときにすぐに検温ができるようになっています。
特別支援学校	手指消毒の徹底、検温等健康観察の強化
特別支援学校	手洗いうがいの励行、アルコールによる手指消毒、換気の徹底、登校前の検温。

特別支援学校	世の中で騒がれているのに、本校は通常に課業していることで異常さを感じなくなり鈍感になっています。普段からアルコール消毒液を各クラスに配布しているので、いつもより多く丁寧に手洗い消毒をしてもらうよう担任へ伝えたり、集団での授業を出来るだけ避けてもらうようお願いしています。また手洗いの授業に取り組んでもらうようお願いしています。
特別支援学校	全児童生徒、教職員に朝の検温等健康観察を行い、スクールバス内や教室等の消毒、換気、手洗い指導
特別支援学校	体温測定は各家庭で毎朝行ってほしいと依頼。学校でも心配な児童生徒はすぐに検温を行う。手指消毒薬は日常から各クラスへ配布して使用している。担任からの手洗いの指導を強化している。
特別支援学校	担任から情報収集しやすいような連絡票の作成
特別支援学校	登校時と昼食前に児童生徒全員が検温を行っている。
特別支援学校	日頃から手洗い、うがい、給食前のアルコール噴霧をしているので、引き続き実施していく。
特別支援学校	保健室オリジナルの時間割表を保健だよりに書いて、学校ホームページに掲載した。
特別支援学校	毎朝夕検温含む健康観察
特別支援学校	毎日の健康観察、学校での複数回の体温測定
特別支援学校	毎日児童生徒下校後、校内を消毒する（全教員で役割分担）。毎日登校後、と給食前に全児童生徒の検温をする。記録用紙は修了式後に保健室へ提出。
特別支援学校	臨時休業中、Googleフォームを使用し、子どもの毎日の体温および健康状態について、各家庭から報告をもらうようにしている（校内の電話回線の混雑防止のため）。臨時休業に入る前２月下旬にも、登校前の検温および健康観察票（新型コロナ対策用）による記録を行ってた。